

- ◆ 会場：柏崎原子力広報センター 2F 研修室
 - ◆ 出席委員：新野・石田・川口・久我・佐藤・武本・渡辺(五)・渡辺(丈) 委員…8名
 - ◆ オブザーバー：保安検査官事務所/金城所長 地域担当官事務所/沼田所長
東京電力/長野室長・守課長
 - ◆ 事務局：柏崎市/藤巻主任 広報センター/押見事務局長・木村
-

次回以降定例会内容について

- 第45回定例会(3月7日) 6:30~
 - ・ 3月1日の東電改ざん問題の報告と質疑
 - ・ 保安院にも説明をもらう。

- 第46回定例会(4月4日) 6:30~
 - ・ 3月31日の東電改ざん問題の報告と質疑
 - ・ 地下探査の結果は年度末に出るということであったようだが、どうなっているのか。
↓
〈東京電力〉3月末を目標にとりまとめているが、4月の定例会での報告は微妙。概要が出るようであれば報告するが、状況を見ながら判断させてもらいたい。
〈委員意見〉議論は別にしても、資料などが用意できれば、なるべく用意してもらいたい。

- 第47回定例会(5月9日) 6:30~
 - ・ 新委員への委嘱状授与。
 - ・ 情報共有会議としたらどうか。

- 新委員意見交換について
 - ・ 市より→新委員には4月の定例会には傍聴してもらいたいと考えている。3月末には、新委員を決定してもらえよう段取っている。
 - ・ 会長より→発足当初を知る委員が減っていくことも考えられるので、新委員との話し合いの場を設けたほうが良いと思うので、提案させてもらいたい。
↓
内部の意見交換をすれば、委員の認識のずれも少なくなると思う。
5月か6月に1回、委員のみの内輪の会議をやったほうが良いと思う。
5月の共有会議の際に、村長から会の成り立ちを話してもらい、その後、会を設けたらどうか。
次回の運営委員会で詳細を考える。

改選について

〈委員より〉

商工会議所の中でも委員に加わった方がいいのではないかという意見もあるので、事務局のほうで、早めに依頼を出してもらいたい。

〈委員意見〉商工会議所には、会に加わってもらいたいと思っているので、是非依頼のほうは出してもらいたい。

↓

市のほうで検討、調整。

次年度の視察、定例会内容について

➤ 視察について

- ・ 視察は、新委員にいきなり決めてもらうのも無理があるので、案をいくつかあげておいてもいいのではないか。
- ・ 新委員が、視察先の決定に関わっていたほうが、出席率がいいと思う。
- ・ 新委員の意見交換の時にでも話題に出したらどうか。
- ・ 現委員のアンケートによれば、第1希望：福島、第2希望：浜岡、第3希望：東海・原子力関連施設。

➤ 定例会内容について

- ・ 前半は決定した内容で、その後地震の関係。検査制度関連がどこかで時間をとればいいのだが。その他詳細は次年度に。

➤ 勉強会内容について

〈会長より〉2回くらい予定できればと思っているが。

↓

- ・ 東電の作業員の過労、通院の増加という話を聞いている。東電はマニュアルを整備すればうまくいくと言っているが、裏目に出ているのではないか。どうしたらうまくいくのかというような話を聞ければと思っている。
マニュアルが増えていくことが、弊害になっているという話も聞いているので、大きな事業に対して、地元がどう関わるべきか。地方行政の役割は本来どうあるべきか等の話も聞きたい。
- ・ 本来、締めることを望んでいるわけではないし、拘束すれば安全だとは思っていない。住民としてどうあるべきかということもヒントでもらえるような勉強ができればと思っている。

↓

〈保安院〉地域のガバナンス的な話になるのでは。慶応大学の菊澤先生：ご専門は、経営学や組織の経済学、加えて旧日本軍の組織のあり方等を研究している方。組織のあり方、トップマネジメントや外部評価の重要性など、うまく話してくれると思うが。

- ・ 新委員を迎えての勉強会ならば、一般論的なことから入っていったほうがいいのではないか。
- ・ 後半で、新委員から、もう1回程度の勉強会の内容を考えてもらう。

〈決定事項〉

- ・ 案として出されている先生の日程、プロフィール、勉強会の内容がわかれば、次回運営委員会に提出してもらう。
- ・ 次回定例会で、視察先と勉強会の案を報告。

委員依頼の際、配布する会の概要について

〈市より〉作成した概要について修正があれば、今月中にもraitたい。

↓

- ・ 14年8月の不祥事を受けて、推進・反対・中立、全ての人が、今後の原子力発電所にどう関わっていくべきかという必要性から、同席して議論することになったという大前提があって、それを大事にしていくべきという目的があり、お互いの認識を確認できれば、あまり細かいマニュアルは必要ないのではないか。
- ・ 発足当初に出された趣旨が一番わかりやすいのではないか。P1、2の内容でいいのでは。
- ・ 規約と趣旨がはっきりしていれば、細かな制約はいらないと思う。

〈決定事項〉

- ・ 趣旨は14年に出された文書のまま、P1、2を使用。規約もあわせて配布。
- ・ 会の当初からの経緯も配布。(今月中に修正がなければ、それで良しとする。)

委員質問意見について

- ・ 県が、東電を「さん」付けするのは何故か、という質問だが、本人に確認した後、意見として出したらどうか。
- ・ 東電に関する質問に対しては、次回回答。
〈東電〉放射線管理の全体像に関する質問、社内監査の体制、ヨウ素・希ガスが一定以上になったらどういう対応をするのか、という積み残しの質問もある。
- ・ 保安院に対する要望については、意見と同等の扱いとする。

視点について

〈事務局より〉

- ・ 4月5日発行予定…内容：第43回、44回定例会。臨時会は日程がきついこともあり、6月に掲載。

↓

〈委員意見〉

- ・ 1/31の公表の件は、4月発行分に掲載したほうがいいと思う。
- ・ 4月分に載せるとしても、スペース的に掲載できるのか。
- ・ 議論は別にしても、公表された内容だけでも掲載するべき。
- ・ 43回、44回の議論の内容を削ってでも、掲載したほうがいい。
- ・ 次回号と重複する部分が出てきたとしてもやむを得ない。

〈決定事項〉

- ・ 内容には踏み込まず、東電の公表と臨時会開催の事実だけは、今回号に掲載する。
- 内容について
- ・ プロに依頼したというが、説明と回答が大半になっていて、委員の意見は3割程度。このままでは、東電や行政のPR誌と変わらない。このような内容の配分はやめてほしい。
 - ・ 視点の価値は、質疑応答にあると思う。中でも価値があるのは、委員の発言。委員の発言よりも、オブザーバーの発言が目立つのはよくないと思う。(保安院)
 - ・ 議事録に沿って誌面を作成するというのは、無理がある。ある程度、知ってもらいたい部分を浮き上がらせて掲載する必要がある。

〈会議部分に関して〉

- ・ 課名変更の記事について：課名の変更を議会で承認とあるが、承認する必要があるのか。→後日確認。
- ・ いくつも動いていない…→何がいくつも動いていないのかわからない。
- ・ この場で、修正部分の見直しをしてもいいのだが、大半が説明という誌面の状態をこれから修正するとなると、その後にさらに字句の修正をすることになるが。

↓

来月の運営委員会で最終版を再度見てもらう。今回の修正を踏まえて、事務局で作成。

〈みんなの広場の投稿に関して〉

- ・ 原稿を書ってくれた人にちょっとしたお礼ができないものか。

↓

事務局：今の段階では難しい。みんなの広場継続の有無も含め、今後検討。

※ 誌面編集の見直しについては、次年度検討。

次回運営委員会について

- ・ 3月15日（木）6：30～

その他

〈会長より〉

- ・ 技術委員会を傍聴した件の報告。
- ・ 技術委員会のメンバーに地元を意識してもらうためにも、一度、会としても視察してみてもどうか。

↓

技術委員会の開催時に声をかけてもらい、都合のつく委員で参加したらどうか。

〈事務局より〉

- ・ 次年度、秋くらいから広報センターの改修に入るため、会議の場を外に確保しなければならない。
- その時期に、西山・刈羽での開催をあててはどうか。その他はオフサイトセンターを検討中。